

平成 30 年 10 月 2 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K09477

研究課題名(和文) Nogo分子を標的とする自然免疫と小胞体形成を介した新規白血病治療法の開発

研究課題名(英文) developing a new treatment for leukemia, targeting innate immune and endoplasmic reticulum

研究代表者

松岡 広 (Matsuoka, Hiroshi)

神戸大学・医学研究科・准教授

研究者番号：50418878

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：我々は小胞体形成分子であるNogo(Reticulon4)を介する新規の白血病治療法の開発を目指して、in vitro、in vivoの解析を行った。

研究成果の概要(英文)：We analyzed function of a ER structure molecule, Nogo, in vitro and in vivo.

研究分野：血液内科学

キーワード：白血病 小胞体 Nogo reticulon

1. 研究開始当初の背景

急性骨髄性白血病(以下、AML)の寛解導入率は80%に迫るが、約半数が再発により死亡する。以下、特許出願準備中のため、省略。

2. 研究の目的

以下、特許出願準備中のため、省略。

3. 研究の方法

(1) Crispr-CAS9 system により、Nogo が KO された細胞株を作製し、in vitro において抗癌剤、ER stress inducer であるツニカマイシン、H2O2などを投与し、フローサイトメトリーを用いて、細胞生存を解析した。

(2) 細胞株における小胞体並びに微小管の形態を immunocytochemistry 並びに電子顕微鏡で解析した。

(3) in vivo 解析のため、Nogo 遺伝子組み換えマウスを解析した。

(4) Nogo の受容体である LILRB の発現を解析した。

4. 研究成果

Nogo 分子を標的とする新規治療の開発を目指して、in vitro ならびに in vivo で基礎的検討を行った。

以下、特許出願準備中のため、省略。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

現在のところ、未発表である。

〔雑誌論文〕(計 件)

〔学会発表〕(計 件)

〔図書〕(計 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

松岡 広 (Matsuoka, Hiroshi)

神戸大学大学院医学研究科

腫瘍・血液内科学分野 准教授

研究者番号: 50418878